

令和3年度の研究（または活動）内容

令和4年2月19日に以下のような内容の公開研究会を実施した。登壇者は研究所メンバーで構成した。参加申し込み者は159名、当日参加者は132名であった。

研究会終了後にアンケートを配布したが、45名の参加者からアンケートを回収することができた。感想として、「認知症当事者の丹野さんをはじめ、医師の石原先生、福祉・建築関係の皆様様の視点からの様々なお話を拝聴し、とても考えさせられました」「建築と言う観点から認知症状のある方に向き合う研究があることも知ることができました」などがあった。今後の展開については「多角的な視点から認知症の方に寄り添える学びの機会を今後も期待します」「具体的事例の紹介、その成果・実績を多く紹介していただくとありがたいです」などの声があった。研究会への感想だけでなく本研究所への期待の声と具体的に求める内容を確認することができたため、今後の活動の参考にしていきたい。

<公開研究会の詳細>-----

「認知症の人を含めたすべての人があたりまえに生きられる社会に向けて」公開研究会

開催日時：2月19日（土）15:00-16:40

開催方法：オンライン開催（zoom）

超高齢社会。認知症のある人が社会の中であたりまえに暮らすことが求められる時代になっています。しかし未だその実現には至っていません。認知症とともに暮らす社会の構築には、医療・介護体制の整備はもちろん、社会や環境の整備、そして一人ひとりが抱えるさまざまな精神的・身体的・社会的な問題の解決が必要です。そこで本研究会では、認知症専門医である石原哲郎氏、認知症当事者である丹野智文氏、認知症の環境デザインに詳しい石井敏氏にご登壇いただき、認知症の人を含めたすべての人があたりまえに生きられる社会とその環境に求められることについて議論したいと考えています。

当日のスケジュール

15:00 趣旨説明・進行 谷本 裕香子（認知症の人と環境研究所 所長）

15:10 「私が認知症とともに生きる人から学んだこと」

石原 哲郎先生(脳と心の石原クリニック 院長)

15:30 「認知症と共に生きる」【事前収録】

丹野 智文さん(おれんドア実行委員会 代表)

16:00 「認知症を支える環境づくり」 石井 敏（東北工業大学）

16:15 ディスカッション(登壇者とお二人を加えて)

福井 大輔さん（株式会社未来企画）・田中 伸弥さん（社会福祉法人ライフの学校）

16:40 クロージング

お申し込みは以下の申し込みフォームよりお願いいたします。お申し込み後に接続 URL をお伝えします。

定員：200名（申込み先着順 2月11日（金）締め切り）

参加費：無料

申込問合せ：東北工業大学 谷本 022-304-5545 yutanimoto@tohtech.ac.jp

主催：東北工業大学 認知症の人と環境研究所

共催：東北工業大学 生活デザイン学科・建築学科

協力：日本建築学会 福祉施設小委員会・日本医療福祉建築協会

認知症の人を含めたすべての人が
あたりまえに生きられる社会に向けて

2月19日（土）15:00-16:40
オンライン開催

15:00 開会説明・進行 谷本 明香子（認知症の人と環境研究所 所長）
15:10 「私が認知症とともに生きる人から学んだこと」
志原 智恵子先生（脳と心の回復クリニック 院長）
15:30 「認知症と共に生きる」【事前収録】
内野 智文さん（おれんじトピア実行委員会 代表）
16:00 「認知症を支える環境づくり」 石井 敏（東北工業大学）
16:15 ディスカッション（登壇者とお二人を招いて）
福井 大輔さん（福祉施設小委員会） 田中 伸弥さん（日本医療福祉建築協会）
16:40 クロージング

認知症の人と環境研究所 谷本 明香子
認知症の人と環境研究所 石井 敏
認知症の人と環境研究所 内野 智文
認知症の人と環境研究所 福井 大輔
認知症の人と環境研究所 田中 伸弥

考え方が変わる環境です！

認知症の人を含めたすべての人が
あたりまえに生きられる社会に向けて
公開研究会

Center for research on
the environment of dementia

定員 200名（申込み先着順 2月11日（金）締め切り）
期 間 2月19日（土）15:00-16:40
場 所 オンライン開催
申込方法 東北工業大学 谷本 022-304-5545 yutanimoto@tohtech.ac.jp
申込締切日 2月11日（金）23:59
参加費 無料
協 力 日本建築学会 福祉施設小委員会・日本医療福祉建築協会